

RENAISSANCE in

洋光台 a

PRODUCE 2013.3-2014.2

次世代のまちづくりに向けた取り組み
洋光台まちづくりアンケート報告
サンモール広場が変わります

YOKODAI
AREA
COUNCILルネサンスin洋光台
エリア会議ルネサンスin洋光台
まちづくりワークショップ

洋光台エリア会議は洋光台地域の良好な社会インフラを有効活用し、まちの価値を維持・向上させ、次世代に引き継ぐため議論を進めています。また、地域にお住まいの方、地域で活動される方々の意見や力をまちづくりに活かすための**ワークショップ**を実施、ここから、新たなネットワーク形成や、具体的な活動 **Cyoi アクション**が始まっています。

洋光台エリア会議

大江 守之教授 (慶応大学) 小林 重敬教授 (東京都市大学) 中村文彦教授 (横浜国立大学)
洋光台まちづくり協議会
神奈川県 横浜市 磯子区 UR都市機構

方向付け・助言 ↓ ↑ 報告・提案

全体ワークショップ

テーマ別ワークショップ

テーマA: 駅前の活性化 テーマB: 多世代交流など
町会・自治会、地区社協、地域ケアプラザ、PTA、学生
ボランティア組織など(コミュニティ、高齢者、子育て支援)

↑ ネタ出し ↑
C y o i ア ク シ ョ ン

洋光台は既にこの地域が持っている課題についての認識があり、有意な資源についても認識があるので、住民・行政・関係者が意識を共有し、具体的な発想・活動するためのこれからの仕組みづくりを議論する段階に入っている。住民とURがいっしょにテーマを絞り、行政から協力を得て活動をしていく方向で動きたい。



小林重敬教授 洋光台エリア会議座長
東京都市大学 都市生活学部教授
専門分野: 都市計画、都市・住宅政策

洋光台エリア会議への期待

大江守之教授

慶應義塾大学 総合政策学部
専門分野: 人口・家族研究、都市・住宅政策



住民が個人やグループで様々な活動を行う中から発見される、洋光台での暮らしのニーズを関係主体で共有し、その対応に関する協働の仕方や役割の担い方を話し合い、実施に移していく、そしてまた考えるという新しいスタイルが実現できるとよい。

地域にとってどのような移動の方法がいいのか、そのために地域住民が何ができるのか、地域から発案することが大事。また交通は手段であって、その先に日常の活動がある。その活動を支え実現するのが交通の役割。外出頻度が上がる、それによって健康的な生活が送れるなど、そういうことまで含めた議論が必要だ。

中村文彦教授

横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院
専門分野: 都市交通計画、都市基盤



洋光台エリア会議への期待

三上勇夫 洋光台まちづくり協議会 会長
洋光台連合自治町内会会長



URには当時としては先進的なまちを作っていたので、次は持続可能なまちに向けて、もう一段ギアを入れてもらえるようお願いしたい。洋光台で何ができるか本気で考えなければいけない。今後も出来るだけ様々な地域住民の発言の機会をつくってもらいたい。

※「RENAISSANCE in 洋光台02」より

テーマ別Aワークショップ
駅前活性化

2012年12月に始まり、
これまでに9回開催したWSは
集会所での活動から
いったん離れて、

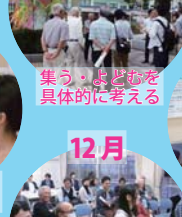


第3回全体ワークショップ(2013年9月)



2月

駅前からの情報発信

洋光台の
まちづくり

12月

駅前からの情報発信

洋光台の
まちづくり

10月

駅前からの情報発信

駅前からの情報発信

2014年4月からは

駅前広場に誕生する

CCラボ(コミュニティチャレンジラボ)で
オープンワークショップを行います!!

2012年12月に始まり、
これまでに9回開催しました。
次は4月にCCラボで
開催します!



8月

高齢者支援活動について聞こう

高齢者支援活動について聞こう

高齢者支援活動について聞こう

高齢者支援活動について聞こう



7月

AB合同見学会「黄金町」

AB合同見学会「黄金町」

AB合同見学会「黄金町」

AB合同見学会「黄金町」



5月

AB合同見学会「黄金町」

AB合同見学会「黄金町」

AB合同見学会「黄金町」

AB合同見学会「黄金町」

ここから様々な
アイデアが生まれ
その一部はCyoiアクションとして
実際にまちに出て活動が行われました

テーマ別Bワークショップ
多世代交流
コミュニティ活性化

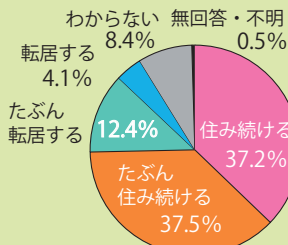
ご協力、ありがとうございました！

昨年7月から8月にかけて洋光台地区全域に約 10,800 票を配布をした「洋光台まちと暮らしのアンケート」は、1,723 票(約16%)の回答を頂き、現在、分析を進めているところです。

その中から、このリーフレットでは、地区全体の集計結果から、いくつかの特徴ある結果に加え、年代別のプロフィール・まちの評価・まちの声を紹介します。

集計・分析結果については、今後の洋光台のまちづくりに活かしていきます。

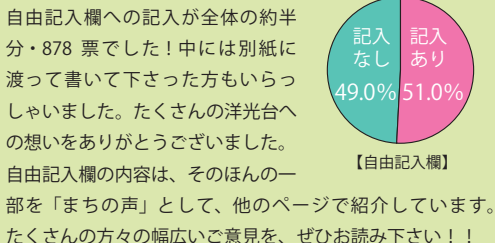
洋光台に住み続けたい！



【問：洋光台に住み続けたいですか？】

現住宅の居住意向については、【住み続ける】と【たぶん住み続ける】を合わせた約 75%、回答者の 3/4 が、「**洋光台に住み続けたい**」と思っていることが分かりました。

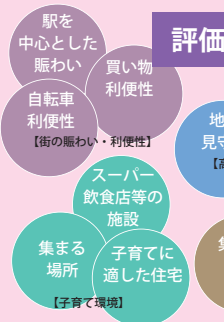
まちへの想いがいっぱい！



自由記入欄への記入が全体の約半分・878 票でした！中には別紙に渡って書いて下さった方もいらっしゃいました。たくさんの洋光台への想いをありがとうございました。自由記入欄の内容は、そのほんの一部を「まちの声」として、他のページで紹介しています。たくさんの方々の幅広いご意見を、ぜひお読み下さい！！

評価の高い項目は…

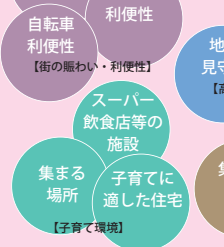
洋光台の7つの地域環境の中で最も評価が高い項目は「**安心・安全環境**」、次いで「**街並み・自然環境**」でした。更に細かい分類では右の項目の評価が高くなっています。



整備された歩行環境
【安心・安全環境】

緑豊かな景観
【街並み・自然環境】

評価の低い項目は…



最も評価の低い項目は「**町の賑わい・利便性**」、次いで「**高年齢者の環境**」「**子育て環境**」「**コミュニティ環境**」でした。

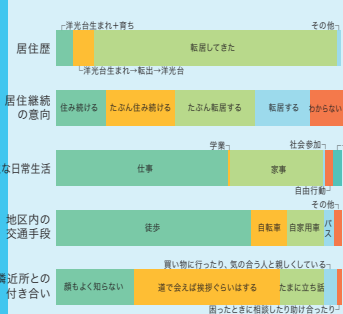
★他の項目の結果については、都市機構ホームページで公開しています！

洋光台のまちと暮らしの満足度は…

58.8点

20～30代のアンケート回答者は全体の**12.2%**、**203人**でした

20～30代回答者のプロフィール



20代 30代

安全・安心環境
67.5点

（総合的に）安心・安全な暮らしができるまち？

街並み
自然環境
61.9点

（総合的に）街並み・自然環境が楽しめるまち？

子育て環境
54.9点

（総合的に）子育てが暮らしやすいまち？

コミュニティ
環境
50.1点

（総合的に）良好なコミュニティのあるまち？

高齢者の環境
45.3点

（総合的に）高齢者が暮らしやすいまち？

町の賑わい
利便性
37.3点

（総合的に）賑わいと活気があり、便利なまち？

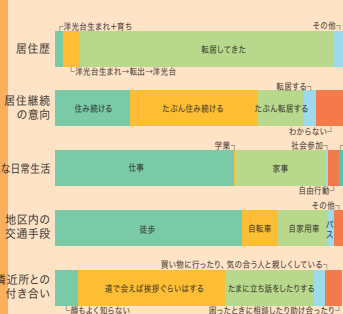
まちの 評価

洋光台のまちと暮らしの満足度は…

61.4点

40～50代のアンケート回答者は全体の**29.7%**、**495人**でした

40～50代回答者のプロフィール



40代 50代

安全・安心環境
71.4点

（総合的に）安心・安全な暮らしができるまち？

街並み
自然環境
64.9点

（総合的に）街並み・自然環境が楽しめるまち？

子育て環境
53.5点

（総合的に）子育てが暮らしやすいまち？

コミュニティ
環境
50.9点

（総合的に）良好なコミュニティのあるまち？

高齢者の環境
45.3点

（総合的に）高齢者が暮らしやすいまち？

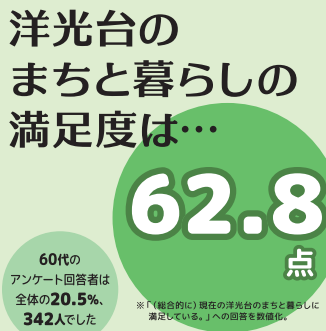
町の賑わい
利便性
39.7点

（総合的に）賑わいと活気があり、便利なまち？

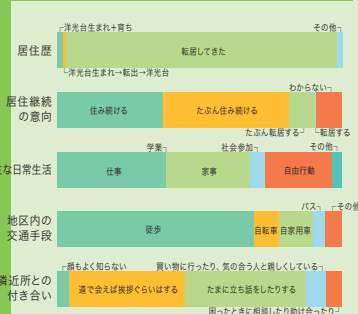
まちの 評価



本出版物の一部または全部を無断で複製、複製、あるいは転載することを禁じます



60代回答者のプロフィール



安全・安心環境 74.9点

(総合的に)安心・安全な暮らしができるまち?

60代

街並み 自然環境 66.3点

(総合的に)街並み・自然環境を認めるまち?

子育て環境 53.8点

(総合的に)子育て環境が暮らしやすいまち?

コミュニティ環境 49.6点

(総合的に)良好なコミュニティのあるまち?

高齢者の環境 48.2点

(総合的に)高齢者が暮らしやすいまち?

街の賑わい 利便性 45.9点

(総合的に)賑わいと活気があり、便利なるまち?

まちの評価

60代 まちの声

高齢者ばかりが目につきます。洋光台駅は高校生も多く利用しますので、若者が駅周辺で滞在するような雰囲気をつくり、若いパワーを感じる街になればよいと思っています。

住んでいる人は「港南台より洋光台」が好きです。「港南台」化しない様をお願いします。駅前がさびれても良いとは思いませんが、駅を出たらすぐ住宅地が洋光台の大きな特徴です。

静かな街に適する商店(レストラン、ショッピング街)がなく、駅周辺にも魅力的なものがなく、子ども科学博物館に匹敵するような大人の楽しみの場があると文化街になるのに。

お祭をしたり食事も手軽にできて、ゆっくりと立ち寄りできる場所がないので、いつも待ち合わせの出来る場所があったら良いのになと思っています。それが無いので、残念。

立地や環境が良く穏やかな雰囲気がある。ここからの賑わい・娯楽・商業は不要だが、繋がる場所が欲しい。

住みやすいまちだと思っています。電車の中で小耳にはさんだ会話です。「東京に住んでいるけど洋光台は良いまちね。来るたびにホッとする」いいよね、こんなまちに暮らせて!!

商業都市のような利便性はなくて良い。駅前のような便利な場所に「みんなの立ち寄り所」を作り情報交換や物作り等、住民同士で交流し合える。居るだけでもいい「場」があったら。

近隣には50坪、100坪の屋敷に高齢者がお一人て暮らし、空き家が目立つようになっています。それを若い人達が活用して、子育てに励むことができたならあと想像します。

坂の多い街で高齢になるにつれて移動に不便を感じている。バスの増強または地域管理バスなどが必要。駅前の駐車場をもっと少し立体にし、子供たちの走る場にしてほしい。

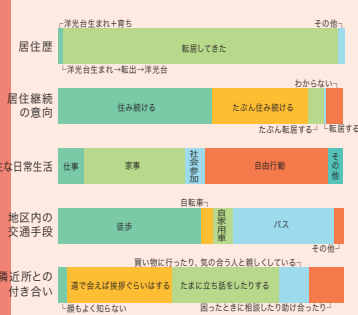
自然豊かな町ですが、団地を中心に高齢化が進んでいます。安心して暮らしている町になるように見守りの仕組みと、より多くの住民が集えるような拠点が町の中に出来たら良い。

徒歩圏内にある自然(円山等)、少し足を延ばすと鎌倉方面、金沢の海と周辺の環境に魅力を感じます。

出掛け洋光台の駅に降りるとホッとする反面、時間帯によっては昼間でも人が歩いててくらしにくい。駅前の商店街もシャッターが閉まったままの店があって活気が無いと思います。



70代以上回答者のプロフィール



安全・安心環境 75.6点

(総合的に)安心・安全な暮らしができるまち?

70代以上

街並み 自然環境 68.7点

(総合的に)街並み・自然環境を認めるまち?

コミュニティ環境 52.6点

(総合的に)良好なコミュニティのあるまち?

高齢者の環境 51.6点

(総合的に)高齢者が暮らしやすいまち?

子育て環境 51.3点

(総合的に)子育て環境が暮らしやすいまち?

街の賑わい 利便性 48.0点

(総合的に)賑わいと活気があり、便利なるまち?

まちの評価

70代以上 まちの声

若い働き盛りの人達が地域で働ける街づくりが必要と思う。働ける人達は地域へ出てしまうので平日は高齢者が多くなります。高齢者でも働ける地域社会を構成する工夫も必要。

洋光台での暮らしには満足してはいますが、町の活気は今一つだと思います。子育て世代が少なすぎるし、子育て層が暮らしやすいまち作りをする事が、先決ではないでしょうか。

高齢者が多くなっていますので、多世代交流も含めたコミュニティの活性化が必要です。「落ち着いた年齢な町」ですが、明るく元気な町には見えなく、暗い町と思います。

ここ10年で老人の多いまちに、隣近所も亡くなった施設に入居されたりの変化が激増で、後に入居される世代は共働きが多く、今迄のような隣近所関係が作りにくく感じています。

みんなが楽しい街、みんなが愛する街、みんなを愛する心が見える街、明るく街洋光台、ガンバレ。

高齢の転入者が気軽に相談できる場所や人材が判りづらく不安です。町内会にはどのようなメリットがあるかも判りません。転入者宅へ声を掛けて下さればありがたいです。

洋光台新聞が出なくなり、連合や自治体の活動や周知事項が知れなくなった。商店の閉店が多くなった。大型商店の導入で小店は開業が困難に。商業と街の人の会話が無くなった。

有料でも高齢者の集うサロンの様な場所が何箇所かあると良い。若いママの集うところも必要と思う。

緑の多い洋光台は素晴らしい環境下。桜の季節は美しい桜に癒され、コンクリートの中に住んでいる事を忘れれます。四季の移り変わりを木々の伐採等てう失の無いようお願い。

40年住んでいるが変化のない街。スーパーの便利は良いが、その反面当初賑わったサンモール商店街のさびれよう。昔が広場に集まりたくなる街が復活出来ないものか。

お友達とおしゃべりしたり、食事を楽しんだりする場所が少ない。気軽に入れるような美味しい物屋さん。雑然としすぎず、取り違えず、あまり高くないお店を必要とします。

高齢者が居住できなくなり、売却して若い家族が転居してくるが、高齢者も最後まで住めるサービスや自然エネルギーなどの設備で日本でも先進的なまちになってほしい。

エリア会議等での約2年間の議論を経て、いよいよ洋光台地区の再生・活性化が始まります。

第一弾として、建築家隈研吾氏を「デザインアドバイザー」に迎え、洋光台地区の「顔」となる「R洋光台駅前の洋光台中央団地内広場(通称:サンモール洋光台駅前広場)の改修基本検討に着手、2015年(平成27年)中の着工を目標に検討を進めています。

これまで、ワークショップ・まちづくりアンケート等を通じて、地元の方から地元が求める広場の将来像を多くいただいております。

これらを踏まえ、隈研吾氏が導き出したデザインコンセプトは「街の縁側」。

このデザインコンセプトは広場改修のみならず、洋光台地区の再生・活性化に資する様々な取組に繋がっていきます。

洋光台の広場を西洋的な意味でのPLAZAにはしたくありません。PLAZAにはどこか、かくれて閉じたイメージがあります。重たい建築に囲まれた、閉じた外部空間というニュアンスがあります。洋光台の広場で僕らが目指したものは「街の縁側」のような空間です。街と外部とをつなぐ場所であり、誰もが気楽に腰かけていける場所-それでも洋光台の人にとっては懐かしくて、ここに帰ってくると「家に帰ってきたな!!」とちょっと、ほろっとくる空間-そういうような新しくて懐かしい外部空間をデザインしようと考えました。



デザインコンセプトは 街の縁側

隈研吾氏 日本を代表する建築家



(上) 広場改修後のイメージ (右上) (右) 現在の駅前広場



サンモール洋光台駅前広場の位置